



編集・発行 千葉県体験活動ボランティア活動支援センター <https://www.skplaza.pref.chiba.lg.jp/volunteer/>
〒277-0882 千葉県柏市柏の葉 4-3-1 千葉県生涯学習センター・芸術文化センターさわやかちば県民プラザ内
受付：毎週火曜日・木曜日・土曜日 午前9時から午後5時（年末年始、さわやかちば県民プラザ休所日は除く）
TEL・FAX 04-7135-2200 メール：vc_chiba@pref.chiba.lg.jp（アドレスが変わりました）
体験活動やボランティア活動の支援、相談、情報の収集・発信、講座の開催を行っています。

千葉県体験活動ボランティア活動支援センターでは、体験活動やボランティア活動をしてみたいという方に対して、情報提供や支援を行っています。是非、お問い合わせください！

- ・ 休日や放課後にいろいろな体験活動をしてみたい。
- ・ 学校の教育活動で地域と連携した様々な活動を計画したい。
- ・ ボランティア活動をしてみたい。ボランティア活動に関する学習機会について知りたい。

体験活動・ボランティア活動は、活動した人にしかわからない楽しさがあり、得るものがたくさんあります。電話やメールによる相談、ホームページでの情報発信も行っています。ホームページでは、県内の体験活動ボランティア活動に関する情報や、旬の話題に関する情報を発信しておりますので、是非、ご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の拡大とボランティア ～できることから考えて行動しよう！～

新型コロナウイルス感染拡大により、今、人類が戦後最大といわれている危機に直面しています。こういう時だからこそ、一人ひとりがボランティア精神を持ち、想像力を働かせて行動をしましょう。

想像してみましょう

- ・ 世界中では、日本より大変な状況の中で生活している人がたくさんいること。
- ・ 医療従事者等の方々が、日々、我々の大事な人を救っていること
- ・ 気を付けていたのに、知らぬ間に感染してしまった人のこと。
- ・ 感染の多い地域から、感染の少ない地域に行ってしまう人のこと。

自分のことと置き換えて想像してみましょう

- ・ 自分（医療従事者）のこどもが偏見を受け、いじめられること。
- ・ 自分（感染者）、または自分の身内が周囲の人から差別や不当に扱われること。
- ・ 自分（移動者・帰省者）が、その地域に行ったことで、その地域の人々に感染させてしまうこと。

に気づくと思います。

今こそ客観的な視点を持ち、冷静になってお互いを気遣い、思いやりをもって誠実に行動しましょう。そして、日本のすべての人がひとつになり、この難局を乗り越えて日常が戻ることを想像すれば、必ずこの状況を乗り越えられると思います。

ボランティアとは、誰もが幸せに暮らすことができる社会をつくるため、自分にできることを考え、自分から進んで活動することです。

誰もがそれぞれの立場で、力を出し合い、協力しながら活動できます。誰もが、何かのために役立ちたいと思う気持ちがあり、また、その反面、自分のできる範囲で活動したいという気持ちもあります。

まずは、自分のできることから考えて行動しましょう。

- 例えば、
- ・ 世界中の医療従事者に感謝の拍手を送る。「午後8時に拍手を」「正午に拍手を」
 - ・ 休店をしているお店のために、食べたつもりで寄付する。
 - ・ マスクを必要としているひとのために、マスクを作る。
 - ・ 適度な運動と睡眠をとり、笑顔で元気に過ごす。（免疫力をアップする）
 - ・ 一人暮らしの親に電話して、会話をする。

令和2年度 体験活動ボランティア活動関連講座 詳細についてはお問い合わせください。

開催日	講座名	対象・人数・費用
7/18 (土)	体験活動ボランティア活動入門講座 体験活動ボランティア活動の基礎を学習し、活動への啓発を図ります。	どなたでも 30名 無料
9/5 (土)	体験活動ボランティア活動実践講座 体験活動ボランティア活動の企画運営のノウハウを学び、実践力向上を図ります。	どなたでも 30名 無料
2/27 (土)	教育支援実践研究交流会 事例研究や講演を通し、資質向上や参加者間のネットワーク構築を図ります。	どなたでも 100名 無料
7/19 (日)～	ヤングパワームーブメント2020（※全10回講座） 地元市やNPO団体と連携し、若者による地域の課題解決に向けたまちづくりを行います。	高校生・大学生 10名程度 保険料

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止などの理由により、掲載されている講座の中止、内容や日程の変更をすることがあります。

令和 2 年度体験活動及びボランティア情報

個人でできる身近なボランティア情報をお届けします

捨てないで！

●ベルマーク運動

ベルマークを集めて必要な商品を買うだけではなく、買った代金の 10%が日本や海外の援助資金になります。

(キャノン・エプソン使用済みカートリッジは再利用されベルマークにも代わります。)

ベルマークだけでなく、以下についても支援活動に生かすことができます。

- 使用済み切手 ●書き損じハガキ ●使用済み割り箸
- 使用済みテプラカートリッジ ●使用済みハブラシ
- 使用済みディズニーランド・シーの入場券 他

ちばエコスタイルとは？

今、私たちの生活は、大量のごみを発生させ、さまざまな環境問題を引き起すようになっていきます。このような中、大量消費型社会から、循環型社会への転換が求められています。

～誰にでも、すぐに、簡単に実践できる3R～

限りある資源を有効に使ってごみを減らし、使えるものは繰り返し使い、ごみを資源として再利用することでエネルギーの無駄づかいや環境への負荷を減らす「循環型社会」の実践的な行動指針のひとつです。

① リデュース (Reduce) …ごみを減らすことが一番大事！

- レジ袋は断る
マイバックを持参しましょう。
- 食べきりを心がける
食べ残しや買いすぎに気を付けましょう。
- フードドライブを利用する
食品ロスを減らすために家庭で余っている食品を、地域の福祉団体に提供することを【フードドライブ】と呼びます。缶詰やレトルト・インスタント食品が余っていたら【フードドライブ】を利用しましょう。
- 少しの工夫で無理なくごみを減らす
詰め替え用の商品を使いましょう。生ごみはしっかり水切りをすることで重さが 1 割以上減るそうです。

② リユース (Reuse) …繰り返し使おう！

- 洗って再利用できるリターナルブルビンに入った商品を使いましょう。
- 着ない服や使わない食器はバザーやリサイクルショップに出しましょう。

③ リサイクル (Recycle) …資源として再利用しよう！

- 正しい分別をして資源化することにより、新しい製品に生まれ変わり、また使うことができます。
- リサイクル製品を購入しましょう。

(千葉県環境生活部循環型社会推進課 3Rより)

できることから始めよう！

レジ袋はいつ生まれたの？

1962 年東京の梨農園から、「梨をもいで竹かごに入れてもらっているが、竹のささくれで女性客のストッキングが破れる」との苦情が多く困っているとの相談を受けたメーカーが、ポリエチレンの四角形の袋の上部に切れ目を入れ、持ち手を作りかごの代わりに使いました。やがて 1970 年代にスーパーが軽くて丈夫な手つき袋に着目し、爆発的に普及したのがレジ袋の始まりです。

レジ袋は何が問題なの？

ゴミとして収集されず、焼却もリサイクルもされなかったレジ袋やペットボトルなどは軽いので風に吹かれて散乱しました。

奈良でもシカがレジ袋を飲み込んで死んでいたりと、海に流れたレジ袋が原因でクジラやイルカ・カメが死んだりということが起こりました。イタリアでは 1984 年死んだクジラからレジ袋が 50 枚出てきたことをきっかけに、1989 年レジ袋 1 枚につき 100 リラ (約 6 円) のレジ袋税が課せられるようになりました。

欧米各国、アジア、アフリカなど世界中でレジ袋規制の動きが進んでいます。世界では約 800 万トンものプラスチックが、ゴミとして海に流れ込んでいるとも推計され、2050 年には、海にいる魚すべての重量よりプラスチックの方が重くなるといわれる「海洋プラスチック」によるごみ問題は海洋汚染や生態系への影響を問題視したものです。

今までレジ袋は無料で配布されていたため、私たちは無意識のうちにレジ袋や透明なポリ袋を買い、1～2 回使った後はゴミとして捨てていたのではないのでしょうか？そのレジ袋は必要だったのでしょうか？

2020 年 7 月からのレジ袋有料化に先駆け、有料化に取り組み始めている店舗も多くなりました。私たちも地球温暖化・海洋プラスチックやマイクロプラスチックなどを身近な問題として考えていきたいものです。

マイクロプラスチック (5ミリ以下のもの) とは？

捨てられたプラスチックは、紫外線などの影響で細かく砕けて風に舞い川から海へと流れ着き、世界中の海にも存在しています。プラスチックは自然に分解されることはなく、半永久的にたまり続ける可能性があり、近年、魚や海鳥の体内から大量に見つかり食物連鎖を通じて私たちの体内にも蓄積しているのではないかと懸念されています。

できることから始めよう！

利便性だけを求めず、その先に何があるか想像し行動していきましょう。

- レジ袋やポリ袋などは、使い終わったらゴミとして指定の場所に出す。
- マイバックを持参する。
- 風呂敷の包み方を学びいつもバッグの中へ入れておき、レジ袋の代わりにする。

(環境省サイト、NHK 就活応援ニュースゼミなどより)

情報を募集しています！ 体験活動、ボランティア活動、イベント情報をお寄せください。

いただいた情報は当センターホームページ、広報誌「支援センターだより」に掲載させていただきます。

〒277-0882 柏市柏の葉 4-3-1 さわやかちば県民プラザ内 千葉県体験活動ボランティア活動支援センター

TEL・FAX：04-7135-2200 E-mail：vc_chiba@pref.chiba.lg.jp